

# 北社会ニュースオ87号

2013年1月22日

発行者： 鈴木壮夫

17 → 24

北社会・会員の皆さん、どんな新年をお迎えでしょうか。故郷・宮城の方々からいただいた年賀状を拝見するたび、“頑張れ！宮城”と叫んでおりました。そんな中、北社会の世話人として昨年後半とても嬉しいことがありました。鈴木直樹（高23回）、小堀裕之（高31回）堤裕一郎（高55回）三氏が前向きに世話役を引き受けてくれたのです。2004年、もう8年前になりますが5人が青山大先輩のそれまでのご努力を継承すべく世話役を引き受け現在に至っております。1月9日、新宿で世話人会を開催、北社会をより一層、若い同窓生が参加できるような、そして新しい北社会を目指して多くの賛同者をお迎えしたいと意気投合しました。「17→24」高校卒業回、従来の5人から8人に増えたおかげで卒業回が7年若返りました。期待して、皆さん注文をつけて下さい。8人で素直に検討させていただき、慣習にとらわれず実行します。会員の皆さん、8年前から皆さんにお願いしているのはお一人お一人の「当事者意識」です。よろしくお願い致します。少しでも「北社会」が皆さんの生活に役立つようにしたいのです！

## （1）1月22日（火）開催、第305回 北社会

毎年恒例の昨年の活動報告及び会計報告ですが、今年は世話人会としての本年・2013年の活動計画が新たに加わります。北社会が多くの同窓生の賛同を得られるよう会員の皆さんに提案致します。貴重な時間を費やして参加する、そのご努力がより多くの同窓生のために役立つそんな素晴らしいグループに育てあげたいのです。ご参加皆さんよりお一人お一人「一分間スピーチ」をお願いします。ご意見をご披露下さい。そして、毎年楽しい佐々氏（高27回）と素敵で美しいお弟子さんの新内流しの会場巡り、素晴らしいですね。そして、大きな声で応援歌・校歌で盛り上がりましょう。二高卒業、幸せですね。

## （2）第306回 北社会

開催日：2月18日（月）

講師：田部康喜氏（高25回）一般社団法人・麻布調査研究機構 代表理事

テーマ：「東京都知事選 434万票の奇跡 キャンペーンマネージャーとして」

田部さんは朝日新聞記者から大きな展開をされております。楽しみです。

末尾にオトコでなくなりつつある72才、巳年のそば屋の旦那の独り言。

師走、28日から正月8日迄12日間休みなく働きどうでした。1998年そば屋を立ち上げてから14年間、毎年のことですが今年は初体験がありました。先ず、打つそばのデキに自分でも納得ができない。お客さまに申し訳ないと謝って茹であげました。

それと、早朝5時前には起床するのですが、午前3時頃からいろんなことが気になって眠れないのです。自分の生活、やり方に対する自分自らへの「責め」なのです。

それでも起床して、星空の下、店に向かう。そして、無意識に願っている。人生唯一の友「二高の仲間」と高らかに笑いあおうと！皆さんよろしく、励まして下さい！！